

PASSAGES

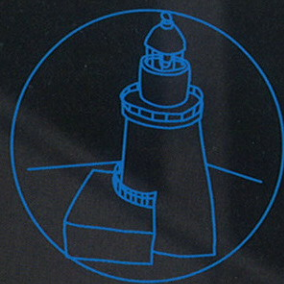
パッセージ

北海学園大学

2009
Vol.12

経営学部報

バランスとれてる？



PICK UP
ピックアップ

若い人もメタボ健診が必要？

今回は、「健康科学」「体育実技」を担当されている伊熊克己先生に、メタボリックシンドロームについてお話していただきます。

みなさんも、チェック項目をチェックしながら、自分の食生活や運動についてふりかえってみてはいかがでしょうか。



伊熊 克己 准教授

昭和59年3月
日本体育大学体育学部体育学科 卒業

昭和59年4月
北海道学園北見女子短期大学 助手

平成2年4月
北海道学園北見女子短期大学
(北海道学園北見短期大学) 講師

平成10年4月
北海道学園北見大学
(現:北海道商科大学) 助教授

平成19年4月
北海道学園大学経営学部 准教授

【スポーツ競技歴(学生時代)】

昭和57年

- ◎東日本学生トランポリン競技選手権大会
男子個人Aクラス第2位
シンクロナイズドトランポリン優勝
- ◎全日本学生トランポリン競技選手権大会
男子個人Aクラス第6位

昭和58年

- ◎東日本選手権大会
男子個人Aクラス第3位

【資格】

国際体操競技連盟(FIG)公認トランポリン競技国際審判員資格取得

【学会】

日本体育学会・日本運動スポーツ科学学会・日本スポーツ方法学会・北海道体育学会

【本学担当授業】

健康科学・体育実技

【研究テーマ】

ライフスタイルと健康に関する研究というタイトルをメインテーマとして、子どもから高齢者に至るまでの様々な年齢階層の人々の生活習慣と健康状況について調査している。

2008年4月、40歳から74歳までの中高年保険加入者を対象にメタボリックシンドロームの概念に基づく「メタボ健診」特定健康診査ならびに特定保健指導が始まりました。ちなみにメタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に高血糖・高血圧・高脂血症のうち2つ以上が合併した、動脈硬化性疾患(狭心症、心筋梗塞、脳卒中)等の発症リスクが高まった身体状態を示しています。

「メタボ健診」とは、個人の健康診査の結果から現在危険状態に該当する者やその予備軍の人々に対して生活習慣の見直しをサポートし、早いうちから治療や生活指導を徹底することにより、増大する医療費を削減することをねらいとした新健診なのです。

ところで、若い皆さん方はメタボリックシンドロームという言葉聞いても、まずピン

とはこないでしょう。それどころか、自分には全く縁のないお話しだと思われることでしょう。しかし、現在、若い人々に生活習慣病に罹る人が多くなっているのです。特に近年では小児肥満がもとで、若年期における生活習慣病の発症から急死するような症例も散見されており、小児期からの生活習慣病予防の必要性が叫ばれており、子どものメタボリックシンドロームの判断基準値が設定されている程なのです。これ、本当のことなのです。もしかししたら、これからは若い世代のメタボ健診が設定される日が来るかもしれません。

さて、メタボリックシンドロームや生活習慣病は規則正しい食生活を送ることや適度な運動習慣を身につけることによって予防可能となるのです。そこで、この際皆さんには今一度、食生活と運動について見直しをしてほしいと思います。

<p>運動不足についてのチェック項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●最近、歩いて10分以上かかる所へは必ずといっていいほど交通機関を使う ●バスや電車に乗るときは空席がある ●と必ず座ってしまっ 	<p>食生活についてのチェック項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●夜遅くに何かを食べることが多い ●ついつい腹一杯食べてしまうことが多い ●甘いものがどうしてもやめられない ●塩辛いものが大好きだ ●脂っこい食事が多い ●ファーストフードやコンビニ弁当をよく食べる
--	--

<p>●休日は何もしないで家でごろごろしたり、テレビ、テレビゲーム、DVD、パソコン等をしていることが多い</p> <p>●階段を使わないでエレベーターやエスカレーターを使うことが多い</p> <p>●坂道や階段歩行で息切れがする</p> <p>●最近、太りだしてきた</p>	<p>以上のような項目にあてはまることありませんか？食生活のチェック項目、運動不足のチェック項目ともに半分以上該当する人は、食生活の問題や運動不足が指摘されると思います。</p> <p>毎日の生活習慣が乱れているあなた…健康の危険信号が点滅しているかもしれないよ！</p>
--	---



れくなび

~Lecture Navigation~

[講義紹介]



前回に引き続き、経営学部で行われている講義の中から
本当にごくごく一部ですが、その内容を紹介したいと思います。
大学でどのような勉強をしたいか考えるときの参考になれば幸いです。

経営学説史

春日賢先生

現実のビジネス・
シーンで起こる
様々な問題への解
決策は、たったひ
とつではありませ

ん。経営学も、ポイント

の置き方やアプローチの仕方によって様々な解

答を提供します。この「答えはひとつではない」ということこ

そ、高校までとは違う大学の勉強すなわち「研究」の楽しさ

といえます。経営学を勉強するみなさん一人ひとりが、それ

それ自分なりの問題意識から、自分なりの答えを導き出し

ていくのです。

経営学説史では、経営学の様々なアプローチを学ぶこと

によって、経営問題に対する自分なりの思考方法、いわば

「経営学脳」を養成することがねらいです。単なるテクニッ

クやスキルの修得ではなく、それらを創造する多面的かつ

論理的なトレーニングの場です。

講義では、とくに社会における企業のあり方に焦点を合

わせて展開しています。企業不祥事が日常化しつつある昨

今ですが、ここで問題になるのは「マネジメントのあるべき

姿」という根本的な問いです。それを自分の頭で論理的かつ

創造的に考えてゆくことによって、これから実社会で働く

みなさんがより望ましい成果をあげられればと願いつつ、

今日も教室に立っています。



経営情報論

天笠道裕先生

今日のコンピュータ・ネットワークを中心とする情報技術の進展は、インターネットやe・ビジネスなどを創出し、企業経営に大きな影響を及ぼすとともに、経営情報(システム)の重要性を増大させています。さらに、人間の価値観の多様化、社会・市場・技術環境の動態化を伴う今日の不確実性の高い環境下にある企業経営を考慮した場合、企業はどのような経営情報システムをいかに設計・開発し、いかに活用していくべきなのか、さらには持続的競争優位に寄与させるためにはどのようにビジネスプロセスに組み込むべきなのかに関して分析・考察を行うことは重要であり、必要不可欠であるといえます。そこで、本講義では、企業経営にとって重要な資源である情報に関する定義とその役割、ならびに経営情報を生み出すシステムとその本質を把握するためのアプローチ、および経営情報システムの設計・開発方法について体系的に学習します。また、急激に変化する経営環境の中で果たしてきた経営情報(システム)の主導的役割と情報流動のメカニズムについても体系的に学習します。このとき、ノートパソコンとe・Learningシステムを活用し、電子ノートの作成やオンラインテスト、資料のダウンロード等を行います。



原価計算

今村聡先生

原価計算とは、まずは製品を単位作るためにいくら掛かったのか(これを単位当たり原価と言うわけですが、「会計学概論」や「会計学原理」では原価を費用と言いましたね)を算出すること、と考えていただければ良いのです。ただ、この「製品単位」の意味は広く、即席ラーメン一袋とか携帯電話一台に限らず、ときには「最新大型旅客機二十七機」という注文全体が「単位」となることもあり、また製造業以外では、ジーンズカン一人前とか、ある映画のある会場で一週間で上映するプロジェクトの準備から終了と後片付けまでというのも、原価計算の対象としての製品「単位」と言えます。

商品売買業では、販売された商品をいくらで仕入れたのか(売上原価)は判っているわけですが、原価計算では、このような広い意味での製品を作るために生じた経済的資源(材料、労働、生産機械、動力...)の消費を、製品「単位」という対象に集計してゆくわけです。

経営学部での開講科目中、「計算」という言葉が付いているのは「原価計算」しかなく、「計算するばかりで面白くないさぞう」と言った人がいましたが、授業中に出てくる計算自体は、安い電卓でも行える加減乗除だけです。むしろ、加減乗除だけで成り立っている公式みたいな物を導くまでのプロセスを、理解していただきたいと思います。





第5回目は伊熊克己先生による「今どき心配な
のマネジメントについて講義が行われました。」

第4回目は菅原浩信先生による「スポーツと第3セクター」でした。スポーツを提供する第3セクター等の具体例として、ヴィッセル神戸、草津温泉フットボールクラブ、北海道フットボールクラブ、札幌ドームの事例が紹介され、「公共性」と「経済性」の両立が求められる第3セクター

第3回目は鈴木修司先生による「意志が弱いね(?)」でした。「なぜ、やる気が続かないのか」を、「時間割引」、「時間解釈」という観点から、登山を例にしてわかりやすく解説し、やる気を引き出す指導方法についても触れられました。

第2回目は澤野雅彦先生による「女子バレーボールの栄光と挫折―企業とスポーツのアンビバレントな関係―」でした。昭和39年の東京五輪で金メダルを獲得した「東洋の魔女」と日紡貝塚女子バレーボールチームの関係性をひも解くことにより、会社の教育訓練制度の一環として女子バレーボールチームが作られたことなどが紹介され、「花嫁修業が金メダルを生んだ物語」を、出席者は大変興味深く聞き入りました。

第1回目は田中昭憲先生による「スポーツトレーニングにおける計測機器の活用」でした。疾走能力をトレーニング現場で分析するための機器が紹介され、それらの使用方法や測定結果の解釈について講義が行われました。

第6回北海学園大学経営学部公開講座「経営学部でスポーツ―Part 2―」
―経営学と健康・スポーツ科学の相互理解による新しい価値の創造―を計7回にわたり実施しました。

今年度の
経営学部市民公開講座は、
「経営学部でスポーツ Part 2」というテーマで、計7回にわたり実施されました。経営学、心理学、健康・スポーツ科学など、様々な講義が行われました。その一部を紹介いたします。また、来年度から、2部に新しい科目として「健康・スポーツと経営」が開講される予定です。その内容についても紹介します。



シンクタンくん▶
経営学部のひっそりマスコット。大きな脳で大量の情報を処理し、体のタンクで保存する。

アイエイガクの ガン なヤツ

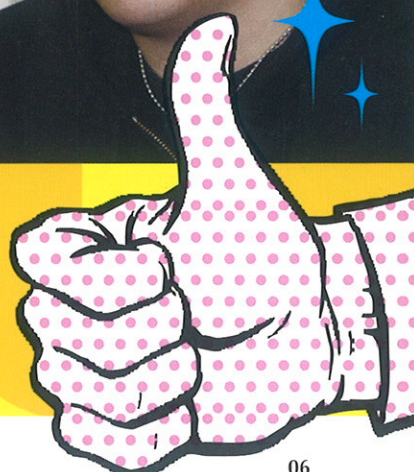
1 英語に対する高い興味

僕は小学生の頃から英語には興味があり、長く英語の勉強には取り組んできました。高校に進学する際には国際科を選びましたし、北海学園大学の経営学部を

経営学部では、総合実践英語系の実習科目として、海外総合実習というプログラムを実施しています。これは、夏休みを使って海外の提携校(カナダ・レスブリッジ大学経営学部)での語学習得や、海外企業への訪問などをおこない、より高い英語力を養おうとするプログラムです。海外総合実習は大学全体で設けられている交換留学制度とは別に経営学部が独自に用意しているもので、経営学の学生であれば誰でも参加することができます。日頃学んでいる実践英語の知識や能力をさらに磨き、実際に海外に出てその能力を使いながら学ぼうという高い意欲を持つ学生が毎年参加しています。今回は、この海外総合実習に参加した経営学部3年の岩井宏樹君にインタビューをおこないました。



経営学部3年
いわい ひろき
岩井 宏樹 くん
●海外総合実習先/
カナダ・レスブリッジ大学経営学部



Toyohira think tank

子どものライフスタイル―小学生の健康状態に着目して―でした。小学生のからだやこころの自覚症状には、睡眠や食事、遊びなどの条件が相互に関連していることなど、現在の子どものライフスタイルの問題点が指摘されました。

第6回目は竹田憲司先生による「中高齢者のフィットネス―動きのストレッチング―」の実技講習でした。運動は「やらされるのではなく、自ら楽しんで取り組む」と良いというコンセプトの下、「骨・筋肉・関節の動き」を意識したストレッチングが理論と実技を交えて紹介されました。

第7回目は伊藤友章先生による「スポーツをマーケティングすること。その可能性と限界」でした。マーケティング研究の知見が、スポーツのマーケティングにどのように応用できるかについて、多くの事例をもとに解説されました。

出席した方々とのディスカッションやアンケート結果から見えてきたことは、健康増進やスポーツ振興を担う組織の運営に関して、①専門的な経営学の知識を身につけて現場に活用したい。②健康づくりやスポーツについての理解を深め、最新の知識を身につけたい。という要望が大変に強いということでした。

そこで経営学部では、平成21年度より2部の新カリキュラムにおいて、特別講義「健康・スポーツと経営」科目を開講する予定です(平成21年度以降の入学生が対象)。科目担当

者は、公開講座「経営学部でスポーツ」の講師が中心となり、他学部教員、非常勤講師の協力を仰ぎながら、「スポーツトレーニング」「ライフステージと健康・スポーツ(以上2年次開講予定)」「スポーツマーケティング」「スポーツと企業」「スポーツマネジメント」「スポーツコーチング」「レクリエーション論(以上3年次開講予定)など、全10科目20単位の科目展開を計画しています。これにより、経営学部に所属しながら、健康・スポーツ科学の専門知識を学ぶことが可能となります。また、「スポーツと企業」「スポーツマーケティング」「スポーツマネジメント」等の経営学に関連する科目は3年次以降に開講する予定ですので、1・2年次に経営学の基礎を身につけた学生が、スポーツをテーマにして経営に関する応用力を養うことも、本特別講義のねらいの一つとしています。スポーツに興味が無い学生も、このような科目を履修することによって、経営学をより深く理解する手助けとなるはずですよ。

特別講義「健康・スポーツと経営」を通して、経営学と心理学、健康・スポーツ科学との一体化を図り、新しい価値の創造が可能となる成熟した関係構築への道を探っていきたいと考えています。



選んだのも総合実践英語科目をはじめとし、使える英語を学べようだったということがありました。海外総合実習に参加したのも、このような興味があったからなのですが、将来ビジネスの場で英語を使うような仕事をしたいと考えており、そのためにも役に立つかなと思いました。

実際にいったカナダでは、非常に刺激的な経験をすることができました。特に、現地の学校では、上位クラスになると実際にプロジェクトを立ち上げ、企業との関わりの中でビジネスを進めるプログラムがあります。こんなプログラムがあるのか、とすごく刺激を受けましたし、僕自身も将来は英語を使いながらコンサルティングに関わる仕事などに就きたいなと思うようになりました。

2 海外総合実習はめったにない良い経験

海外総合実習に興味を持っている後輩の皆さんは、単に語学を磨きたいと思っ
ている方も多くかもしれません。もちろん、そのような動機でこのプログラムに参
加するのも僕はいいと思います。でも、実際に参加して得ることのできるものは、そ
れ以上のものです。例えば、海外であっても、現地でアンケート調査をおこなったり
しながら研究やリサーチをすすめていきます。ショッピングモールなどで見知らぬ
現地の方に英語で話しかけるのは、とても勇気のあることでしたが、おかげで英語
でのコミュニケーションに対して度胸をつけることができたのではないかと感じて
います。また、プログラムで取り組むリサーチなどではゴールを自分で設定し、さ
らにそれを達成するためにはどんなプロセスをとるべきなのかも自分で考えな
ければなりません。このような勉強は海外総合実習だからこそ学ぶことがで
きたのだと感じています。何も英語に対して100%の自信がなくても、興味
本位でも参加することで得られることは十分にあると思います。是非積極的に参
加を検討されてもいいのではないのでしょうか。



CAMPUS NEWS

● 経営学部からのお知らせ ●

今年度は、6・8・10月にオープンキャンパスを開催しました。他の学問と経営学との違いを具体的に明らかにするとともに、本学経営学部で行われている特徴的な教育内容の説明を行いました。さらに、在学生によるゼミ・講義・就職・サークルなどを中心とした学生生活に関するプレゼンを通して、生の声を届けました。学部個別相談会においては、前年度を50名程度上回る170名超の来訪者数があり、多くの高校生に本学部の魅力を伝えることができました。



■お問い合わせ先

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 北海学園大学経営学部事務室
TEL.011-841-1161(代) FAX.011-824-7729 E-Mail: admin-ba@ba.hokkai-s-u.ac.jp

■企画・制作

中西印刷株式会社
Hiroe DESIGN(高橋宏枝) / 三井宏美

PASSAGES

大学生活は、多くの通過点(PASSAGE)を乗り越えながら、人生における重要な一節(PASSAGE)となるものです。PASSAGEは、経営学部生のさまざまな学習経験を支え、教員・学生の相互対話を促す窓という意味を込めたものです。